

守山まるごと活性化 議事要旨

イベント名： 第2回 「A歴史・伝統文化プロジェクト 語り部部会」 会議

日時： 令和2年6月15日（月）午後7時30分から午後9時10分まで

場所： 玉津会館 会議室1

参加者： プロジェクトメンバー 9名 会館1名

開催結果

内容

1. 開 会

顧問あいさつ

今後の活動の中で、Aプロジェクトで交流を行いたい。

2. 議 題

(1) 新体制の提案について

新しい年度に替わり、Aプロジェクトの方向性を決めたい。

（新型コロナウイルスの現状から、集まることが難しくなれば、語り部部会としての活動が困難になり前に進めなくなるのではないかな。）

- ・ Aプロジェクトの2つの部会を統合した方が良いのではないかな。
- ・ 概ね同じようなテーマを両部会がしているので、バラバラに進めず統一した方がプロジェクトとしての方向性が生まれるのではないかな。
- ・ 統合してしまった場合、人数が多くなるので集まらない可能性が出てくる。
- ・ 今まで通りの体制（2部会制）で継続するのであれば、代表（リーダー）は、変えてほしい。
- ・ 一本化すると活動しにくくなるのか。

→それぞれが独自に進んでいるので一本化しなくてもいいのではないかな。ただし、概ね同じ方向を向いているので、Aプロジェクトの中で交流は必要であると考えます。

◎様々な意見が出たが、それぞれの活動を統合すると動きがとりにくくなるため、2部会制で継続することが決定。ただし、代表は変更。

(2) 今年度の語り部部会の活動について

現在の新型コロナウイルスの状態では、今まで通りの「小学校への語り」「地域のサロン等での語り」等はできない。このため、今後の活動方針を考える必要がある。

- ・ テーマの開発をしても、発表できる場がない。
- ・ 語りを映像化し、発信できないか。
- ・ 今までは、多種多様なテーマをそれぞれが調査し、まとめる方法をとっていたが、全員が同じテーマを調べ、最終合わせる方が完成度の高いものができるのではないかな。
- ・ 語りや紙芝居を映像化しておく、後世にまで残すことができる。
- ・ 記録媒体（CD、USB）等で記録する。
- ・ 映像化するためのシステムの勉強会を実施する。
- ・ 多くあるテーマの内、すでに完成しているものから記録を進める。
- ・ 実際の場所に行って撮影し、編集して残す。
- ・ 今まで調べてきたテーマはどうするのか。

→資料として残す。

◎今年度は、語りなどの映像化に向けた取り組みを行う。

(3) その他

- ・毎月第2月曜日を中心に行う。
- ・土日祝日、貸館ができない場合などは、翌平日に行う。
- ・人の集まり状況から、会議等は夜間に実施する。
- ・ただし、その都度集まれる人数が多い日、時間帯で行うこととする。